

## みんなにありがとう

小 二

ぼくが小学校に入学したとき、おじいちゃんは、とてもよろこんでくれました。

ぼくが家を出るとき、  
「行ってらっしゃい。」

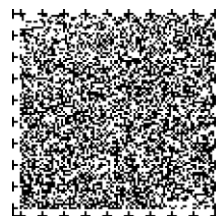
と、えがおでおくり出してくれました。

いっしょに行つたときは、なかなかつれなくて、ぼくが  
あきらめようとしたら、

「こうやると、うまくつれるよ。」

とやさしく教えてくれました。

でも、大すきだったおじいちゃんが、とつぜん、しんでしまい



ました。ぼくは、心がすごくふあんになってしまいました。学校へ行こうとしても、うまく「行ってきます。」が言えなくなってしまうしました。学校に行かなきゃいけないと思ってても、足がうごきませんでした。ランドセルもせおえなくなってしまうました。それまで通っていた学校が、きらいになってしまいました。

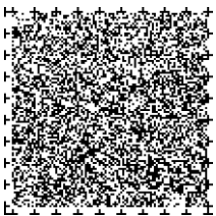
ぼくが学校におそく行くと、そのときのクラスのみんなは、しようこう口のところへ出てきて、

「Aくん、おはよう。」

と言ってくれました。ぼくの心の中は、まだふあんだったけれど、みんなは、

「だいじょうぶだよ。」

と声をかけてくれたり、朝のじゅんぴを手つだってくれたりしました。友だちのBくんは、  
「いっしょにあそぼう。」



と声をかけて、てつぼうをいっしょにやっつけてくれました。

ぼくは、みんなはやさしいんだなと思いました。みんなが、いつもいつもやさしく声をかけてくれたから、みんなにめいわくをかけないようにならうと思えるようになりました。

ぼくは、少しずつ、学校に行くのがいやではなくなってきました、行けるようになりました。ぼくががんばれば、おじいちゃんもよろこんでくれると思うようになります、元気が出てきました。

ぼくは、心がふあんでこまっているときにたすけてくれたみんなに、おんがえしをしたいと思います。だれかがこまっているときは、友だちがしてくれたように、ぼくもしんせつにしたいと思います。

